

2011～2012年度 R.I.テーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



R.I.会長 カルヤン・バネルジー
 事務所 飯田市常盤町商工会館2F
 ☎23-3430 FAX23-3433
 URL:<http://www16.ocn.ne.jp/~rotary/iidarc/>
 E-mail:iidarc@titan.ocn.ne.jp
 例会日 毎週水曜日 PM12:30～13:30
 例会場 シルクホテル ☎23-8383
 会長 濱島光男 幹事 島中 實

見直そう、未来に向けて！



◆黄金のパッチワーク

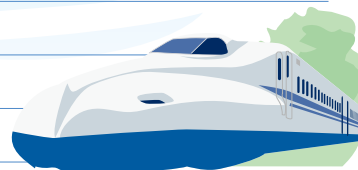
暑さ寒さも彼岸まで、秋の気配を感じるこのごろ、田んぼは黄金色に染まります。ここは中川村の陣馬方山から俯瞰した飯島町の田園風景。黄色のパッチワークを広げたような見事な展開です。後ろの山は中央アルプス空木岳と南駒ヶ岳。手前は大きくカーブをする天竜川が見えます。稲刈り前のタイミングを捉えることができました。

《写真撮影：杉本 進 DATA：SONY a350 f18～200mm F11オート white balance - 太陽光 ISO 200》

残暑の一日

田代 深志

国立新美術館へ続く地下道は新しいがやはりその分殺風景で、名画に会いにゆく心の高まりを生み出してくれるとは言い難い。六本木の狭い通りに出てようやく太陽の光に出会って、ガラス張りの曲線を生かした美術館を前にしてようやくたどり着いたなという気持ちがわいてくる。今回のワシントン・ナショナル・ギャラリー展に来てよかったなと思わせたのはセザンヌの「赤いチョッキを着た少年」とモネの「日傘の夫人と息子」の2点だった。いずれも中学校の美術教科書にはおなじみの作品で多くの方はあああの絵ですかと思ひ当たる作品で、つまり私の洋画知識もその程度のものである。赤いチョッキの少年の不自然に長い腕と背景の大胆な構成、すでにポスト印象派の扉を大きく開けている。日傘の夫人の一瞬をとらえた筆使いの凄さと光によって物体を描き出す鮮やかさを見て、来てよかったなと思う。ゴッホの自画像は先年見たオルセー展のそれのほうが私には感動的だった。極貧にあえいで最後は自死するゴッホのまなざしに射すくめられ危うく落涙しそうになった。ちなみにオルセーの人出はワシントンの3倍はあった。展覧会の後は銀座に出て7丁目のライオンで生ビールとソーセージをいただきながら変わらない店の造りとさまざまな客の姿を楽しむ。銀座くので家人が小物を買うのを待ち、タクシーで東京駅八重洲口へ。大丸の紳士服フロアをのぞき地下に降りて好みの弁当を買って新幹線の車中で名画の印象をひとつ一つたどるのも楽しい。

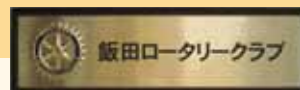


新事務所オープンしました!!

数年前より商工会館の耐震強度不足で“危険の為解体する”との話がありまして、本年度いよいよ解体を実行する運びとなりました。飯田ロータリークラブ及び飯田南ロータリークラブ合同事務所はかねてからの予定通り別々の事務所となり、我が飯田ロータリークラブは通り町4丁目に移転いたしました。

移転につきましては、事務所移転特別委員会の熊谷委員長を中心として、新事務所の所有者の前田会員さんの大きなご理解のもとに話がまとまり、上記の住所地に決定致しました。新事務所の改装など、高額な移転費用の予定ではありましたが、熊谷委員長と前田さんとの話し合いにおいて、大家である前田さんのご英断により、たいへんきれいな事務所となりました。

引越は8月27日に会員有志の皆様にご協力いた



き、短時間に無事行われました。皆様ありがとうございました。

新事務所は9月1日より正式にスタートとなりました。移転特別委員会及び前田会員さんに改めて感謝申し上げます。

会員の皆様、近くへお越しの際は是非お立ち寄り下さい。



マンスリーの編集に初めて携わせていただきました。25文字編集等勉強になりました。次回は早めの原稿依頼をしたいと思います。皆様のご協力に感謝します。

(9月号担当：片瀬)